

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 士幌共励地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「音更町田園環境整備マスタープラン」、「士幌町田園環境整備マスタープラン」、「上士幌町農村環境計画」より）

【現状】

音更町 市街地の東西に音更川河岸段丘、オサルシナイ丘陵、耕地防風林、十勝牧場内の自然空間や河川空間など、景観の要素といえる「緑」が多く残されている。

士幌町 平坦な大地が大雪山系に源をもつ音更川の両岸に広がっており、河川や森林に多くの植生が残された町である。

上士幌町 本地域は、北部一帯が大雪山国立公園に指定され、全町の約8割を山林原野が占め、大小河川流域に農用地が展開する自然度豊かな中山間地域である。

【課題】

音更町 自然環境に対する町民の関心も高まりつつあり、その保全と節度ある活用が求められる。河川改修にあたっては、自然に配慮し、潤いある水辺環境づくりが必要である。

士幌町 農村空間は農業生産に加えて、自然環境の保全、生活の場・保養レクリエーションの場などの多様な機能を提供していることから、地域条件に応じた生産・生活・自然環境の適切な調和が重要となる。

上士幌町 近年の厳しい社会経済情勢の下、各集落の農家戸数は減少し、高齢化の進行とあわせて地域活力の低下が著しい状況にあり、今後の多面的な機能を有する中山間地域の農用地の維持、保全が農村環境面においての大きな課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》（「音更町田園環境整備マスタープラン」、「士幌町田園環境整備マスタープラン」、「上士幌町農村環境計画」より）

音更町 公共事業などの実施にあたり、自然環境や動植物生態系を保ちつつ自然と調和できる事業推進に努める。

士幌町 農業の生産活動と暮らし、自然環境との適切な調和を目指し、地域の条件に応じた環境と生産性の向上・機能性の確保とのバランスに配慮する。

上士幌町 単に水の氾濫を防止するための整備ではなく、自然環境の保全と創出に配慮するとともに、生物の多様な生息・生育環境、親水性に富んだうるおいのある水辺環境等、ソフト面を配慮した整備を図る。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○ 調査位置の考え方

- 排水路最下流部
流下先の士幌川から遡上する魚類も含め、最も多くの魚類が確認できると考えられるため、調査を行う。
- 排水路中流部
落差工の構造検討にあたり、既存の落差工型式で移動可能か確認する必要がある。このため、最下流部との比較対象として中流部を調査する。

○ 調査項目の考え方

- 既往調査結果の活用を基本とする。
整備に伴い生育・生息環境に直接影響を与えることが想定される魚類、両生・は虫類、底生動物、植物及び水質の現地調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①魚類 ②両生・は虫類 ③底生動物 ④植物 ⑤水質

○調査方法

魚類	: 採捕調査
両生・は虫類	: 目撃法、フィールドサイン法
底生動物	: 定性採集法
植物	: 植物相調査
水質	: SS、濁度